102　茶室　　**妙喜庵(待庵)茶室　一棟**　　桃山時代(1582年頃)

茶室二畳　次の間一畳板畳付　勝手の間より成る　一重　切妻造　柿葺　土庇付

妙喜庵は東福寺の末寺である。室町時代の書院の南側に待庵と称する茶室が付属する。
この待庵は豊臣秀吉が山崎合戦の際に千利休に命じて造らせたと伝えられ、確証はないが利休によると考えられる唯一の遺構である。
隅炉、室床、変化のある天井、下地窓や連子窓など、わずか二畳の空間に多くの意匠が巧みに取り入れられた草庵風茶室である。
利休が大成したとされる侘茶の舞台として、この待庵こそがふさわしい。

京都府乙訓郡大山崎町竜光56　075(956)0103　JR山崎駅下車すぐ前
観覧　往復はがきで事前申込が必要